

和剣

VOL. 5

2006年12月5日

和歌山県スポーツチャンバラ協会

〒640-8033 和歌山市本町4丁目32番地

TEL 073-433-7720

FAX 073-433-7730

1. 有田市レクレーション協会主催のイベントへの協力結果。
11月26日(日)に「有田市勤労者体育館」で午後1時30分から3時までの間、由良孝誠先生が協力して実施された「スポーツチャンバラ体験コーナー」には、市内の幼稚園児から小学校4年生までの児童50人の参加がありました。
スポーツチャンバラを知っている人、観たことがある人、やったことがある人がどんどん増えてゆくのは嬉しいことであるし、また、スポーツチャンバラの普及・発展のためにも欠くことは出来ません。今後とも、各種イベントへの積極参加に努めたいものです。
2. 「護身道スポーツチャンバラ体験会」の実施結果。
和歌山県立「青少年の家」が主催、大友館本部道場の協力で、12月2日に「紀北青少年の家」で実施された体験会には12名の参加者があり、終盤には「青少年の家」のスタッフ2名も飛び入りしての団体戦が行われるなど、成功裏に終わりました。山下、澤田、川口、林の4人が出講しました。
3. 第8回奈良県スポーツチャンバラ選手権大会が12月3日に開催されました。
大会への参加選手数は100余名で、大阪府、兵庫県、京都府からは勿論、遠くは香川県、愛知県、神奈川県からの参加選手も居ました。今回大会では一般の部の小太刀と長剣について、「有段の部」と「無段の部」に種目を分けた対戦を実施していました。横浜本部が主催する全国規模の大会で既に取り入れられている対戦形式です。

奈良県大会で審判員を務めながら、内心でしみじみと喜ばしく思うことがありました。自分の“勝ち”の旗を審判員が上げているのに、自ら「今のは“相打ち”」「今のは“無効”」だと進んで申し出る選手が着実に多くなっていることを実感したからです。審判員の旗が上がっていないのに、「打たれた」と申し出る選手も居ました。「打ったか、打たれたか」、「先に打ったか、先に打たれたか」という“一瞬の勝負”の結果は審判員よりも、誰よりも、選手自身が一番良く分かっていることだと教えられています。スポーツチャンバラが目指す『自心審判』の理想が目の前に発露し、体現する姿に接することが出来るのは実に清々しくて気持ちの良いものでした。(会長 安田孝雄)